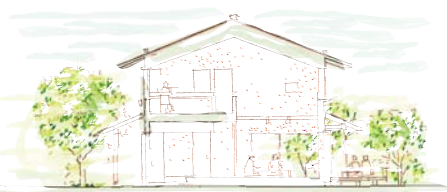


# OPEN HOUSE

[新潟市東区東中野山6丁目]



# 9/16 17

日曜日と祝日の2日間開催

OPEN:10:00~17:00

\QRコードをスキャンして家造のHP・SNSへ/



ホームページ



facebook



Instagram

# 太陽とそよ風の家

## 家造について

代表取締役社長 加藤 善典



社長

## 太陽とそよ風の家

お客様窓口係り 若山 拓郎



施主 担当

## 設計者のひと言

地域主義建築家 水澤 悟



設計



住まいは日常の暮らしを包む場所です。特別な場所ではありません。だから奇抜なものではなく、おおらかで生活を包み込むような空間がよいと思います。家は何十年と使います。今だけではなく将来を考えてつくる必要があります。だから私たちが造る家は時と共に味わいが増し、暮らしになじむ自然素材で造ります。派手ではなく、パツとみると普通の家です。流行のモノではなくベーシック。見た目の印象には残りにくい家です。でも、建て主や私たちづくり手にとっては納得を重ね、丁寧に造った愛着の持てる家です。派手でなく目立たない私たちの家を知っていただくには、体感しかない。人が住まないモデルハウスではなく、実際に建て主のご家族の為に造った素顔の住まいを体感していただきたい。そう思い、当社社員の自宅を一時モデルハウスとしてご覧いただくことにしました。オープンハウス当日は家づくりに対するご質問にお答えいたします。お気軽にお越し下さい。



「自宅をモデルハウスに！」からはじまったこのプロジェクト。昨年の8月に完成し、多くの方にご来場いただきました。おかげさまで好評をいただき、公開は残すところ3か月。11月末までモデルハウスとして活用します。3~4人家族の子育て世代の家として設計されたこのモデルハウスは、大きすぎず豪華すぎず、リアルなサイズ感を体感していただけます。こだわりは無垢の木と自然素材をふんだん使った室内と外壁にも自然の木を使ったこと。外にも木のいい香りが立ち込めています。建つてすぐのこと。学校帰りの高校生たちがこのモデルハウスの横を通ったとき、「木のいい匂いがする。私この香り好き。」と何気なく会話している姿を見かけた時、なんだか嬉しくなりました。敷地が狭く、庭をつくるスペースがなかったため、思い切って駐車スペースを庭と兼用しました。ご見学の際、住まいと庭の心地よい関係も感じていただけると幸いです。



「水澤さんに見てもらいたい土地があるのですが」と言って、連れて行かれたのが2年前の春。元は70坪ほどの土地を半分に分割した細長い敷地で、しかも2方向から北側斜線を受けるという。最初に「ちょっと厳しいかな」という返事をしたと思う。屋根の形状を考えてのことであるということは若山氏も気が付いていたようで、すぐに横に流れる水路は河川扱いであり、2間の幅員があることをおしえてくれた。すなわち水路側からの斜線は気にしなくて良いという事であり、1階の採光も望めるという事がその時点でわかった。それからは特に難しいことではない。リビングを2Fに設け、思う存分水田風景を楽しむ生活を考えればよいというだけである。空気が動く感覚を感じてもらいたいと「そよ風」の導入を検討してもらったのには感謝である。竣工しておまけが付いてきた。高速道路を走る車の姿が意外にも飽きないのである。一度足を運んでいただきたい。

新聞紙の断熱材  
セルローズファイバー

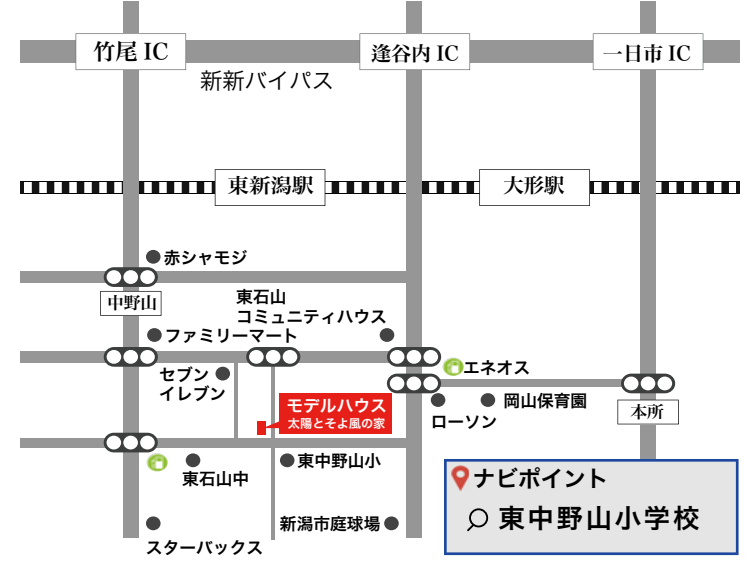


素材



安心の責任施工で  
確かな断熱性能をお約束

このモデルハウスで使用された断熱材は、新聞紙をリサイクルした木質繊維の「デコスドライ(セルローズファイバー)」というものです。隙間なく、家中すみずみまで吹き込むことができ、高い断熱性能に加え、調湿、吸音効果を望める断熱材です。特に吸音効果はすごく、音を気にせずいつも快適に過ごすことができます。実際、モデルハウスの中はとっても静か。専門の施工業者が施工してくれるので施工精度のバラつきもなく、エアコンの配管部分やコンセント・スイッチBOX部分もきちんと充填されます。現場の大工さんからも好評で、特に夏場の暑い時期、この断熱材が施工された後は建物内が涼しくなり、作業が捗るそうです。



お問合せ  
家づくりに対する質問にも丁寧にお応えします。  
お気軽にご連絡ください。

0120-918-085

家造【いえぞう】株式会社 加藤組

《オフィス・常設展示場》新潟市北区木崎863-2  
《本社》村上市久保多町7-3

家造 新潟

施工実例も多数掲載。ホームページもご覧ください。